

特別企画：神奈川県内の「新型コロナウイルス関連倒産」動向調査 <速報>

神奈川県内「コロナ倒産」、250 件に達する

～全国で3番目、業種別ではサービスが71件で最多～

調査結果（要旨）

- 新型コロナウイルスの影響による神奈川県内の倒産（法的整理・事業停止、負債1000万円未満も含む）は9月27日、250件に達した。都道府県別では、東京都、大阪府に次ぐ全国3番目
- 月別にみると、2022年1月に月間最多となる16件の倒産が発生。また、今年1月からの累計は97件となり、前年を上回るペースで発生
- 負債総額は合計470億4000万円で、1社あたりの平均負債額は1億8800万円。負債トップはパン小売の（株）ベルベ（負債58億8800万円）。負債別では、「1億円未満」が145件で全体の58.0%を占めた
- 業種別では、「サービス業」が71件（構成比28.4%）でトップ。以下、「小売業」（59件）、「建設業」（38件）と続く。地域別では、「横浜市」が125件（同50.0%）で最多。以下、「川崎市」（27件）、「相模原市」（17件）などとなっている
- コロナ禍が長期化するなかで経営体力が疲弊している中小企業・小規模企業は数多く存在しており、また原材料費の高騰や円安の影響など企業を取り巻く環境は厳しさを増している。業績の立て直しが困難となるなかで、資金繰りに行き詰まるコロナ関連倒産は今後も高水準が続く可能性が高い

神奈川県内の主な「新型コロナウイルス関連倒産」（負債は推定含む）

商号	業種	負債 (百万円)	所在地
1 (株)ベルベ	パン・洋菓子店経営	5,888	大和市
2 (株)丸う田代	水産練り製品製造	2,600	小田原市
3 (株)コスメティック・アイーダ	化粧品製造	2,600	大和市
4 国上精機工業(株)など2社	プラスチック関連部品製造	2,400	横浜市
5 (株)エンゼルホーム	不動産開発	2,194	横浜市

神奈川県内「新型コロナウイルス関連倒産」

月	2020年		2021年		2022年	
	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)	件数	負債総額 (百万円)
1	-	-	14	1,024	16	2,878
2	-	-	7	3,123	12	2,761
3	0	0	8	765	7	310
4	2	400	11	3,446	9	710
5	4	947	8	978	8	877
6	4	764	8	1,202	11	3,110
7	3	859	8	2,387	14	1,870
8	5	299	4	727	9	1,139
9	5	391	12	634	11	2,304
10	10	4,168	13	763		
11	6	1,127	9	6,212		
12	4	252	8	613		
合計	43	9,207	110	21,874	97	15,959

2022年9月27日時点

※ 集計開始 = 2020年3月

業種別件数・構成比

サービス業	71	28.4%
小売業	59	23.6%
建設業	38	15.2%
卸売業	33	13.2%
製造業	26	10.4%
運輸・倉庫業	12	4.8%
不動産業	8	3.2%

負債別件数・構成比

10億円以上	8	3.2%
5億円～10億円未満	7	2.8%
1億円～5億円未満	90	36.0%
1億円未満	145	58.0%

地域別件数・構成比

横浜市	125	50.0%
川崎市	27	10.8%
相模原市	17	6.8%
藤沢市	11	4.4%
大和市	10	4.0%
小田原市	9	3.6%

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 横浜支店 情報部

篠塚 悟

TEL 045-641-0380 FAX 045-641-2555

e-mail satoru.shinozuka@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。